神奈川病院だより

基本理念　私たちは地域の皆様から信頼される病院づくりに努め常に新しく良質な医療の提供をします

第59号 目次

○新型コロナウイルス感染症に対する当院の対応について ・・・・・・・・・・・2

○今年の夏を振り返って ・・・・・・・・・・・・3

○地域医療連携室のご紹介・・・・・・・・・・・4

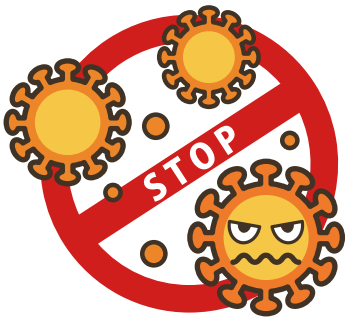
○♪かるしおレシピ♪・・・・・・・・・・・・5

○研究検査科のご紹介 ・・・・・・・・・・6～7

○各科診療担当表・・・・・・・・・・・・・・・8

新型コロナウイルス感染症に対する当院の対応について

感染管理認定看護師　大渡　由美子



新型コロナウイルス感染症は世界的に大流行し、まだまだ予断を許さない状況です。神奈川病院では陽性患者さんの入院受け入れはしていませんが、様々な感染対策を実施しています。

正面入口では、来院された方々に検温を実施しており、今後はサーマルカメラが設置される予定です。職員は毎日の検温と体調管理を徹底して行い、委託職員・病院に出入りする業者・設備関係の方々にも検温と体調管理にご協力いただき、感染症の持ち込みを予防しています。

一般病棟・結核病棟では、条件付きでの面会を実施しています。重症心身障害児（者）病棟では、患者さんの免疫力を考慮して、リモート面会とガラス越し面会を実施しています。

神奈川病院では地域の感染症情報を考慮して、感染対策を定期的に見直しています。神奈川病院の理念である「地域の皆様から信頼される病院づくりに努め、常に新しく良質な医療の提供を致します」をモットーに、これからも進んでいきます。

正面玄関での検温の様子

重心病棟でのリモート面会の様子

○●ご寄附のお願い●○

神奈川病院では、一般診療のほか、結核医療、重症心身障害児（者）医療の提供を行っていくために、病院運営及び教育研修に対し、企業や個人の皆様方から広く寄附等を呼びかけています。

今後も「私たちは地域の皆様から信頼される病院づくりに努め常に新しく良質な医療を提供いたします」を理念に掲げ職員一丸となって取り組んでまいります。

皆様のご支援を心よりお願い申し上げます。

－お問い合わせ－

〒257-8585　神奈川県秦野市落合 666-1
独）国立病院機構神奈川病院　寄附担当
TEL / 0467-81-1771（内線：2110、2400、2221）
FAX / 0463-82-7533

ご寄附いただきました。ありがとうございます。

三沢　千晶 さま

今年の夏を振り返って

小児科医長　石井　徹仁

今年の夏は新型コロナウイルスが流行してから初めてのシーズンとなりました。小児科領域の感染症についても今年は例年と比べて大きな変化がありました。

毎年夏の時期に流行する手足口病、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱の患者数がこの10年間で最も少なくなっていることが国立感染症研究所の調査で分かりました。手足そして口腔内に発疹が出現する手足口病、口の中に水ぶくれができるヘルパンギーナ、眼やのどが赤くなる咽頭結膜熱、いずれも発熱を伴い夏場に小児に流行しやすいウイルス性の感染症です。

「うがい」や「手洗い」など励行や、マスクの着用、不要不急の外出を控えたこと、幼稚園・保育園や学校が休園休校となったことなど、新型コロナウイルス対策により上記の感染数も減少したと考えられています。

また、例年夏場から感染が拡大することの多い風邪のような症状を引き起こすRSウイルス感染症も今年は昨年の1/40程度と極めて少なくなっています。

上記の感染症はいずれも新型コロナウイルスと同様に飛沫や接触を通じて広がってゆくため、消毒や人との接触を減らす対策による患者数の減少も影響していると思われます。

新型コロナウイルスに対する対策も半年以上が過ぎ長期間に渡っており、上述のような感染症患者は減っている反面、生活リズムの変調によりさまざまな身体症状（不眠、倦怠感、便秘、頭痛など）を訴えるお子さんもでてきております。これまでの生活とくらべると運動不足なっていることも多く、猛暑の夏もピークをすぎたので新型コロナ対策をしつつ外に出て体を動かす機会を作ってみてはいかがでしょうか。幸いにも遠出をしなくても秦野市周辺には山や川といった自然が豊富にあります。

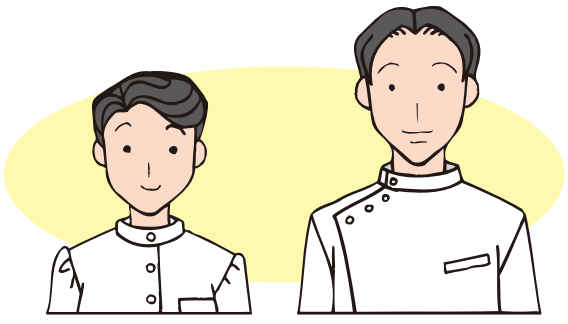
これから迎える秋冬も新型コロナ対策を継続して初めてのシーズンとなりこれから例年流行している季節性のインフルエンザの患者数についても、例年とは違ったものになるかもしれません。

医師・看護補助者（看護助手 療養介助員）募集

～ホームページも是非ご覧下さい～

http://www.hosp.go.jp/~kanagawa/

国立病院機構神奈川病院
☎0463-81-1771（代表）
看護部長室（内線）8700
管　理　課（内線）2121



地域医療連携室のご紹介

在宅医療支援係長　菊池　なほみ

現在、医療機関はどこも同じようなサービスを提供するのではなく、それぞれの機能に応じて役割を分担し、地域全体としてより質の高い医療を提供できるよう「病診連携」を推進しています。診療所の医師（かかりつけ医）であれば初期診療や慢性の継続診療などの外来医療を大きな病院は入院を中心とした専門的な検査や治療を行う役割が期待されます。このような病診連携を推進するのが各医療機関の連携担当者です。

当院は、地域支援病院・急性期病院当院という役割を担っておりその中で「地域に根差した病院」として地域と病院・患者さんと地域の暮らしや院内外の多職種等々様々な場面で連携を図ることを主な仕事としています。

これらの役割を担うべく動いているのは、室長1名・事務職2名・MSW3名・看護師2名の職員となります。看護師・医療事務・MSWなど、職種や立場・専門性の違いを越えて多職種が協働する職場です。

私達が日頃から大切にしていることは、「生活者」としての患者さんを理解し寄り添うことです。入院してこられた患者さんが1日も早く生活の場に移行できるよう、退院を視野に入れた継続的な関わりを行い患者さんやご家族を支援していきたいと考えています。

地域医療連携室では、年々増加している退院調整のニーズに対し病院と地域をつなぐ窓口として急性期医療の必要な患者さんの受け入れから転院退院調整まで一貫して関わります。患者さんとご家族の尊厳を守り、願いに寄り添った切れ目のない看護が提供できるよう院内の看護師と地域医療関係者の顔が見える連携体制をつくっていきたいと考えています。

看護師とMSWが協働し入院された時点からチームで情報共有を行い、患者さんとご家族が安心して次の目標に向かえるように在宅療養を含めた退院支援や転院調整を実践しています。入院前からの情報を活かしながら患者さんが最も適した生活の場に移行できるよう支援し地域の医療機関や福祉施設『顔の見える連携』をより充実させたいと考えております。また、患者さんを中心とした退院前カンファレンスを行い、地域の訪問看護師やケアマネージャーの皆様とより良いパートナーシップを築いています。

更に、地域の医療従事者や一般の方を対象とした症例検討会を開催し地域の医療機関との連携を強化することで、患者さんが住み慣れた地域で安心して生活できる環境作りにも取り組んでいます。

今後の「地域医療連携室」には、病病連携/病診連携だけではなく病住（住民）連携にも関わる必要があるように感じています。そうすることによって、医療の面から地域の安全・安心を支えられるのではないでしょうか。「何かあれば、あそこに行けば安心ね。」というところまで信頼して頂けるよう、医療機関をアピールすることも、地域医療連携室が担う役割の一つではないかと考えています。

♪かるしおレシピ♪ 豚肉さっぱり生姜焼き

薬膳

1人前あたり　エネルギー：203kcal　塩分：0.8g

【材料（2人分）】

豚ロース・・・・・・・・・・・140ｇ
タマネギ・・・・・・・・・・　80ｇ
A
おろし生姜・・・・・・・小さじ1
オイスターソース・・大さじ2/3
酢・・・・・・・・・・・・・大さじ2/3
砂糖・・・・・・・・・・・・・小さじ1
サラダ油・・・・・・・・・小さじ1

●ポイント●

一口薬膳アドバイス：豚肉の効能

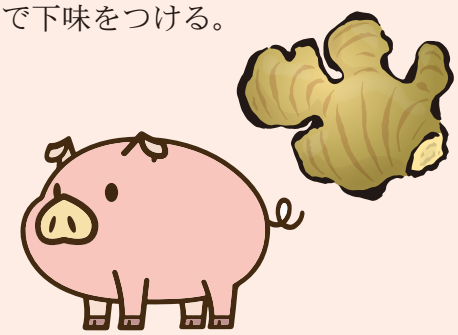
豚肉には神経の機能を円滑に働かせ情緒を安定、疲労回復に役立つビタミンB1を多く含みます。
（100g中0.69mg）
ビタミンB1には胃の働きを活発にする作用もあるので食欲不振や便秘を予防します。

【作り方】

①ボウルにAを入れて混ぜ合わせ、豚肉を加えてもみ込んで下味をつける。

②タマネギは3mm幅にスライス。

③フライパンに油を熱し①とタマネギを炒める。

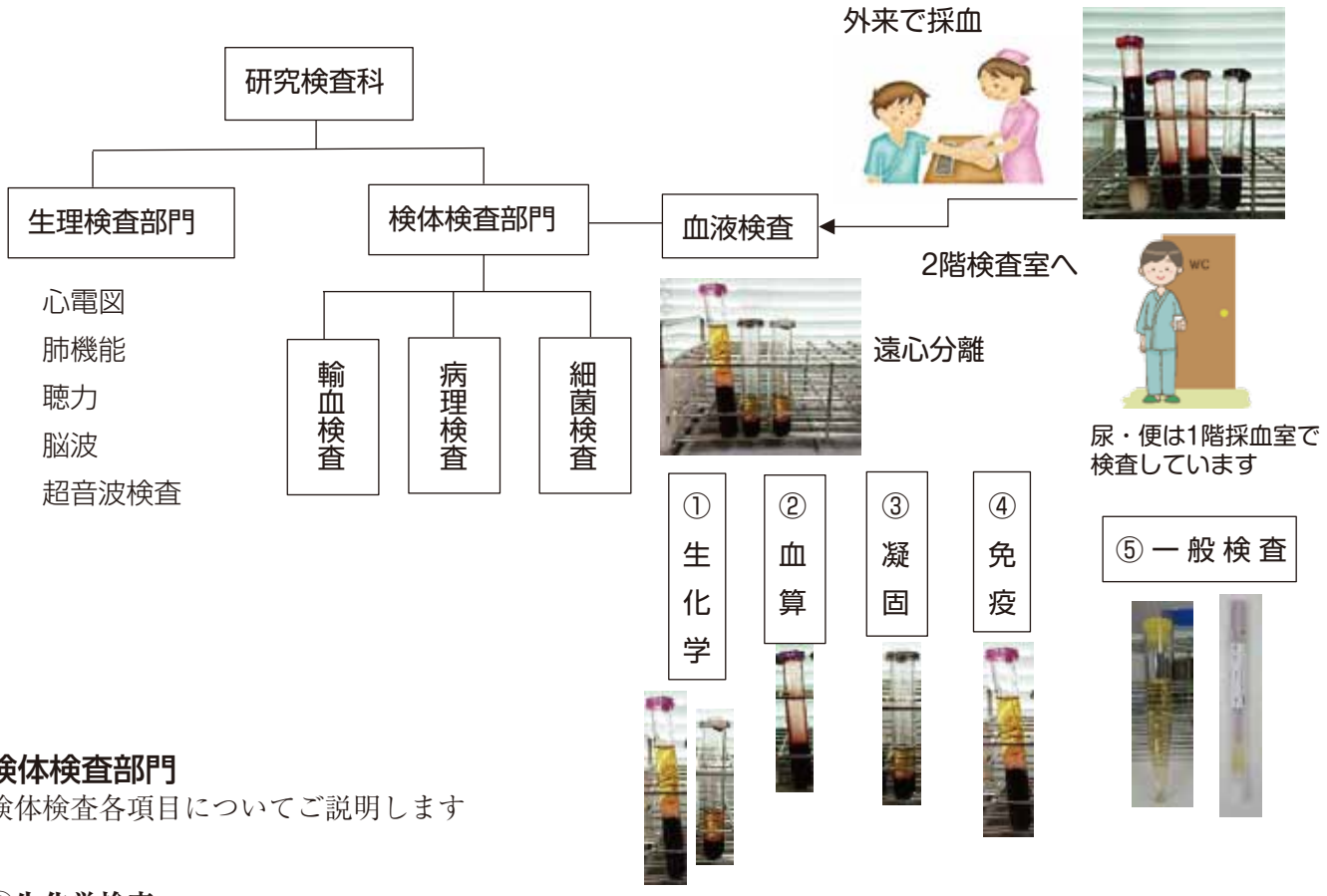


独立行政法人　国立病院機構　神奈川病院　栄養管理室

研究検査科のご紹介

臨床検査技師　松島　麻衣子

当院の研究検査科は臨床検査技師９名と事務員１名の計10名で行っています。医師・看護師・コメディカルと連携し、迅速かつ信頼できる検査結果を提供できるようスタッフ一丸となって頑張っています。



検体検査部門

検体検査各項目についてご説明します

①生化学検査

血液・尿・穿刺液中に含まれる成分を検査しています。

肝機能に関する項目	AST・ALT・LD・ALP・γGTP・T-Bil など
腎機能に関する項目	BUN・Cre・UA など
脂質に関する項目	T-CHO・TG・HDL・LDL など
糖尿病に関する項目	血糖・HbA1c など

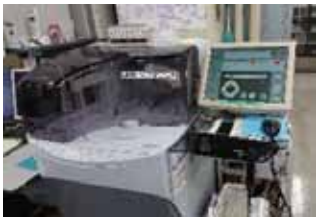
②血算検査

血液中の赤血球・白血球・ヘモグロビン・血小板等の量を検査しています。

貧血に関する項目	赤血球・ヘモグロビン
止血に関する項目	血小板
炎症反応に関する項目	白血球

③凝固検査

血液が固まるまでの時間（凝固）や血栓を溶かす（線溶）成分を検査しています。



凝固に関する項目	PT・APTT
線溶に関する項目	FDP・D-dimer

④免疫検査

ウイルスに感染すると刺激により抗体が産生されます。その量を検査しています。

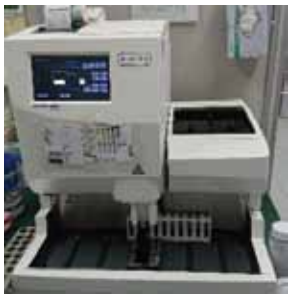
また、癌の進行とともに増加する腫瘍マーカーなどの検査もしています。

B 型肝炎に関する項目	HBs抗原/抗体
C 型肝炎に関する項目	HCV 抗体
腫瘍マーカーに関する項目	CEA・CA19-9等

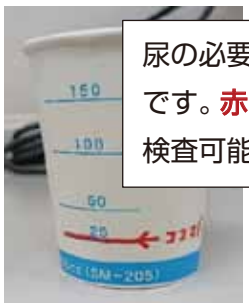
⑤一般検査

尿・便などを検査しており、蛋白や糖、潜血といった成分を分析し、顕微鏡を用いて人の目で赤血球・白血球などの細胞成分の分類をしています。

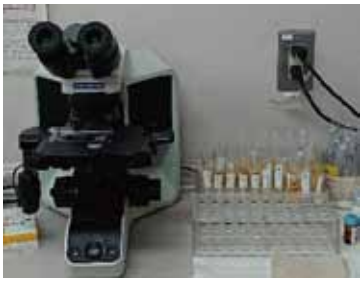
便検査では迅速キットを用いて便中に血液が混じっていないかを検査しています。簡易的ですが消化管出血を調べることができ大腸癌のスクリーニング検査になっています。

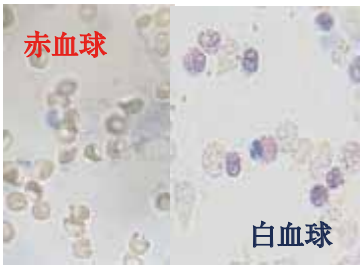


尿路感染に関する項目	尿白血球・細菌
糖尿病・腎不全に関する項目	尿糖・尿蛋白
泌尿器疾患に関する項目	尿潜血・細胞成分



尿の必要量は最低 25ml です。**赤い線**まであれば検査可能です





便潜血迅速キット

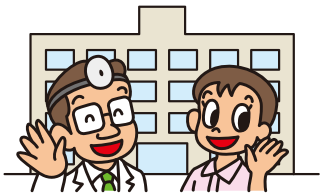
各科診療担当医表

令和2年10月1日現在

科別		曜日	月	火	水	木	金
一般外来	内科系	総合内科	小林	荒木 加藤(翔)	佐藤(翔)	沖	小林
		腎臓内科				前島	山内 (13:00～) 【第1、第3のみ】
		消化器内科	後町		【予】中島 (13:30～)	後町 広瀬 (13:30～) 再診のみ	
		糖尿病内科			森 (9:00～)		
		循環器内科	内田 野村(秀) (9:00～)	吉田 (9:00～) 藤井	松崎(秀)	森木 永井 (9:00～) 【再】【予】内田	森木
		呼吸器内科	大久保 浅野 (9:30～)	河合	大竹 (9:30～)	布施川 荒木	大久保 浦野 (9:30～)
		神経内科		【予】湯谷 (14:00～)			門倉 (11時までに受付)
	外科系	脳神経外科		齋藤(良)	小池 (9:30～)	堀口 (9:30～)	
		外科 消化器外科		鈴木 【第1のみ】	前田	【予】櫻井 (13:00～)	
		呼吸器外科			中山 橋詰		杉浦
		整形外科	数枝木 山本	山本 山本 [装具]	野尻 (9:00～)	梶川 (9:30～)	数枝木 渡辺(隆) (9:00～)
		泌尿器科	浅沼				田野口
		皮膚科			福田 (9:15～)		齋藤(苑) (9:15～)

科別		曜日	月	火	水	木	金
一般外来	小児科系	小児科 小児アレルギー科	萬木(晋) 石井 (9:00～) 【予】渡辺(博) (14:00～) 【予】佐藤(ひ) (14:30～) 【第2のみ 15:00～】	萬木(暁) (9:00～) 【予】萬木(晋) (13:30～)	佐藤(ひ) 渡辺(博) (9:00～) 【予】萬木(暁) (13:30～) 【予】渡辺(博) (14:00～)	渡辺(博) (9:00～) 予防接種 健診 (14:00～) 【第2、第4のみ】	萬木(晋) 石井 (9:00～)
		小児外科 【第1、3のみ】				【予】平川 (13:30～)	
		心療内科	【予】松﨑(淳) (14:00～) 【第4のみ】			【予】松﨑(淳) (14:00～) 【第1.2.3.5のみ】	
特殊外来		乳腺外来	【予】森岡 (14:00～)				
		てんかん外来 【第4のみ】					【予】杉山 (10:00 ～11:00)
		睡眠時無呼吸 外来		【予】荒木 (13:00～) 再診のみ			
		救命救急科	迫田		青木		
		成育心身医療 外来	【予】松﨑(淳) (14:00～) 【第4のみ】			【予】松﨑(淳) (14:00～) 【第1.2.3.5のみ】	

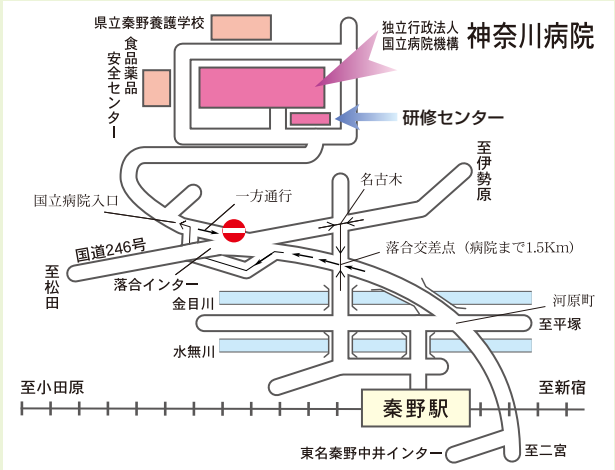
【担当医表の表記について】
①括弧書き（　：　～）
…診察（開始）時間
②【○○のみ】…特定の診察日
③【予】…予約制
④【再】…再診のみ



※担当医表に時間の記載がある日は、記載されている時間内の診療となりますのでご確認をお願いいたします。

発行責任者 ：橋詰　壽律　　編集 ： 広報委員会

案内図



小田急線「秦野駅」下車神奈川中バス④番乗場「国立神奈川病院」行
終点（所要時間約13分）

※車利用
東名高速道路「秦野中井」より約10分
◎矢印の方向へお進み下さい。⛔ は進入出来ません。

独立行政法人
国立病院機構
神奈川病院

〒257－8585　神奈川県秦野市落合666－1
TEL　0463－81－1771　　FAX　0463－82－7533
URL　http://www.kanagawa-hosp.jp
（アドレスが変更になりました）